

## リーグ最下位～平成20年12月

2008年シーズンは最悪。世界的に展開ラグビーを良しとする傾向から採用されたELV(試験ルール)で、ドライビングモールを倒してもOK、スクラムのオフサイドラインが後方に下げられ・・・等々フォワード中心のチームに不利なルール改定が並びます。

おまけにレフリーのスローフォワードの判定が緩くなり、前方へのパスに対して寛大な措置が取られ、ハンドリングエラーについては、後方にでも落とせばノックオンの笛。ノットリリースの判断が早くなり、全体的にスピードアップされた印象を受けます。

新しいルールへの対応が早かったチームが、今年のリーグをうまく乗り切ったのかも知れませんが、フォワード力の京都産業大学は、ここの一番の集中力を欠き最下位。12月13日の龍谷との入れ替え戦にはかろうじて勝利し、なんとかBリーグ転落を免れました。他のリーグでも、明治に大東とフォワードが売りものの全国大会常連校の不振が目立ちました。



ラインアウトを取ってドライビングモールで進み、相手チームがコラプシング。ゴール前のペナルティは「スクラム選択」で押し込むラグビーは新ルールのもとでは「時代遅れ」となってしまったのでしょうか。また私財を投げ売って36年間熱血指導を続けた大西健監督も今期限りとなりました。関西の雄・無敵の同志社に初勝利、関西リーグ制覇、国立競技場で明治の重量フォワードをめくりあげたスクラム、嵐の平和台で初めて早稲田を倒したあのゲーム。大西監督の作り上げたチームに何度も泣かせてもらいました。

次に泣くのは、国立初勝利。そして全国大会を制覇して胴上げされる大西監督の姿を見て感涙にむせぶなんて幸福な日があいつかは来ると信じていましたが、叶わぬ夢に終わりそうです。



さて、来シーズンは・・・大西監督が率いない京都産業大学、感情移入できるのでしょうか？  
なんて不安に思いながらも、チームの頑張りに期待する今日この頃です。

平成20年12月17日記

Top  
[トップ](#)  
[↑](#)

Back  
[戻る](#)



[Tomorrow is another day～平成21年12月](#)